山形大学
YAMAGATA UNIVERSITY

学　長　定　例　記　者　会　見　要　項

日　　時:　平成27年8月4日（火）　11:00～11:45

場　　所:　事務局第二会議室（小白川キャンパス事務局棟4階）

発表事項

１．地域で活躍する学生サークル紹介～花笠サークル四面楚歌～
２．平成２７年度 山形大学元気プロジェクトを決定しました
３．本学が代表校の「大学間連携共同教育推進事業」が「Ａ評価」となりました
４．山形大学公開講座「小説を書こう！」を開催します
５．第８回山形大学高校生朗読コンクール　本選出場者決定について
６．バルト三国をめぐり、人、歴史、世界遺産から実践的にグローバル感覚を磨く

お知らせ

１．「夏だ！科学体験教室」を開催
２．山形大学文化ホールに於いて＜山形大学キャンパスコンサート２０１５＞を開催します
３．アフリカ地域の農業関係者が山形大学農学部で研修を開始します
４．大学コンソーシアムやまがた「やまがた夜話」９月「医者の眼から見た、文学者たち」

（参　考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日　時:平成27年9月1日（火）11:00～11:45

場　所:事務局第二会議室（小白川キャンパス事務局棟4階）

プレス発表資料

平成２７年８月４日
山　形　大　学

地域で活躍する学生サークル紹介 ～花笠サークル四面楚歌～

「地域創生」をビジョンの1つとする山形大学では、学生サークルが地域で様々な活躍をしています。今回は、「花笠サークル 四面楚歌」をご紹介します。

【四面楚歌とは？】

山形大学の学生によって作られた、山形伝統の花笠踊りを踊るサークルで、現在約120名の学生が所属しています（平成27年度代表：東海林晃さん（理学部3年））。

活動目標は、花笠踊りを多くの方に知ってもらい、一緒に楽しんで頂くこと。毎年８月に開催される山形花笠まつりをメインイベントとしていますが、その他ご依頼があれば、様々な地域の夏祭りや老人ホーム、旅館など日本全国どこでも駆けつけます。

また近年は国内のみに留まらず、香港の旧正月のお祭りへ日本代表パフォーマーとして参加させて頂いたり、日台観光サミットで踊らせて頂いたりするなど、花笠踊りを日本国外のお客様にお見せする機会も増えてきています。

今後とも皆様に笑顔をお届けできるよう、四面楚歌一同精進していきたいと思います。

～四面楚歌の由来～

本来、四面楚歌という四字熟語は「周りを敵に囲まれ絶体絶命」というマイナスの意味で用いられますが、私たちは“敵”ではなく、“お客様”に周りを囲んで頂き、一緒に楽しんで頂きたい！というプラスの意味で名付けています。

平成27年度入学式での踊り

（お問い合わせ先）
小白川キャンパス事務部学生課
電話：０２３－６２８－４１２１

［平成26年度の四面楚歌が参加したイベント］

【1月】
小姓町デイサービスイベント
【2月】
香港インターナショナルナイトパレード、東北地区メトロポリタンイベント、高畠冬祭り、ロイヤルネットワークイベント、スノーアートフェスイベント
【3月】
日本青年会議所イベント、米沢イベント、七中指導、ドイツイベント、オレンジカンパニーイベント
【4月】
山形大学入学式、高畠花回廊イベント、JA懇親会イベント、蔵王ツアーイベント
【5月】
よねおりイベント、上山お城祭り、ひろすけイベント、フローラ再生イベント、東北六魂祭、天童イベント
【6月】
オレカン、青年の船イベント、ハートフルイベント、荻小学校イベント、古窯イベント、山形日和オープニングセレモニーIN米沢、山形日和オープニングセレモニーIN高畠、メトロポリタンイベント、さくらんぼマラソンイベント、青年会議所交流会イベント、さくらんぼまつり、保護者会イベント、ＪＡたがわイベント、日本リンパ網内系学会総会・日本樹状細胞研究会・日本血液病理研究会の合同総会、第28回　保育を高める研究集会
【7月】
川西地区運動会６０回記念イベント、上山月岡ホテルイベント、運動会イベント、南ジャスイベント、天元台イベント、川西町玉庭地区夏祭り、米沢工業高校、駅からハイキングイベント、紅の蔵イベント、上山スマイルイベント、南高指導、パワプロ、五小指導、福祉センター青田イベント、ナーシングイベント
【8月】
上山パレード、やしょまか花笠パレード、天童パレード、蔵王パレード、赤倉温泉イベント、スカイフェスイベント、五小夏祭り、いりまつり、寒河江夏祭り、図書館イベント
老人ホームイベント、
【9月】
留学生指導、みちのく阿波踊り、生協イベント、仙台高畠フェア、古窯イベント、寒河江みこし、なごみの里イベント、古窯イベント、馬まつり、金瓶地区神輿イベント
【10月】
窪田小学校花笠指導、山形まるごとマラソン、ひろすけイベント、農場フェスティバル、ヤギサ

ミット、薬師学会・英語学会、めろめろぱんち、よねおりイベント、八峰祭、白鷹陽光まつり、庄内秋祭り、漬物教会イベント、きのこまつり、短期留学生歓迎会イベント

【11月】

東南アジア青年の船イベント、鶴寿祭、特別養護老人施設「慈光園」文化祭、ラ・フランスマラソン、『東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会』、「やまがた若者交流ネットワークミーティングLink」、古窯イベント、認知症学会、フローラさいせいイベント

ＮＨＫ番組『東北Soul』（撮影）、山形あづまりEXPO2014

【12月】

ＮＨＫ番組『東北Soul』（放送・１２日午後７時３０分～８時４３分　ＮＨＫ総合（東北６県向け）

四面楚歌公式Facebookより

「山形日和」キャンペーンで踊りを披露

［東海林会長からのメッセージ］

【課題】

以上のように最近は１年で１００近くのイベントに参加させて頂けるようになりました。東北六魂祭やテレビへの出演などは、広範のお客様に花笠を知って頂けるだけでなく、それがまたご依頼を生むことにもつながります。これは非常に嬉しいことであり、皆様のご支援を日々痛感するところです。しかしこのご依頼件数の増加は、知名度の上昇を感じさせてくれる一方、私たちのお受けできるイベント数の限界をも示すに至りました。前述のとおり四面楚歌は学生による団体のため、学生生活との兼ね合いもあり、お断りする場合もあります。その件数が知名度に比例して年々増加しているのが四面楚歌の現状であり、私たちがもどかしさを感じているところです。

【花笠まつりに向けて】

明日から始まる花笠まつりに向けて、私たち四面楚歌は７月中旬から練習を重ねてきました。踊りの構成も普段のイベントとは異なり、行進踊りだけでなく、お客様に向かって踊る場踊りも行います。私たちの踊りに期待してくれている方もいらっしゃるかと思います。当日見に来られるお客様のみなさんを私たちの若さあふれる踊りで、元気に、そして笑顔にできるよう精一杯頑張りたいと思います。３日間すべてに参加するので、ぜひ私たちの踊りを近くで見て頂ければと思います。よろしくお願いします！

プ レ ス 発 表 資 料

山形大学
YAMAGATA UNIVERSITY

平成２７年８月４日
山　形　大　学

平成27年度 山形大学元気プロジェクトを決定しました

学生の意欲的な活動を支援し、学生の力によって山形、東北及び山形大学を元気にすることを目的とする「山形大学元気プロジェクト」を９件実施します。

【山形大学元気プロジェクトとは？】

本学では、意欲ある学生に対する支援を充実するとともに、学生の課外活動等を活性化し、同時に学生の力によって山形大学を元気にすることを目ざして平成18年度より学生から「山形大学元気プロジェクト」を募集している。

本事業は学長裁量経費に継続して採択されているもので、発足当時は「山形大学を元気にすること」を目ざしていたのが、平成 23 年度は「山形を元気にする」に、続いて平成 24 年度からは東北大震災の影響を受けて「山形及び東北を元気にする」に、平成 25 年度からは「山形、東北及び山形大学を元気にする」に変更し、本学学生の活動領域をより広範囲に行えるよう進化しているものである。

□応募対象者　　山形大学の学生であればだれでも応募できる。

□プロジェクトの採択件数は以下のとおり。

①“東北”“山形”元気枠（支援上限額30万円）
②“山形大学”元気枠（支援上限額5万円）
③地域貢献枠（支援限額30万円）
※地域貢献枠は、継続的な活動が望まれる団体に対し、継続的に支援を行うものとし、年度末に次年度の支援について判断を行う。

□審査方法

学生・教育担当副学長を委員長とし、委員長が委嘱する数名の委員で構成する審査委員会で選考する。

□ 活動成果の公表

平成28年3月に成果発表会を開催し、各プロジェクトの活動発表を行う。

平成27年度の採択プロジェクトは裏面のとおりです。

（お問合せ先）
小白川キャンパス事務部学生課
学生企画・課外活動担当
電話　０２３－６２８－４１２１
Mail　gskikaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成27年度山形大学・元気プロジェクト一覧表

■地域貢献枠

番号	プロジェクト名	主体となる団体	代表者所属学部	人数	採択年度
1	山形に暮らすすべての人に知ってもらいたい！	フリーペーパーサークルY-ai！	人文学部	30	H25～（継続対象）
2	地域活性化の触媒-SCITA-	SCITAセンター学生スタッフ	理学部	60	H22～（継続対象）
3	Walk with You　プロジェクト	Walk with You　地域盛り上げ隊	人文学部	10	H24～（継続対象）
4	チーム道草　Developmental Step　プロジェクト	チーム道草	理学部	72	H25～（継続対象）
5	地域高齢者宅除雪ボランティア	工学部電気電子工学科学生等	理工学研究科	130	H22～（継続対象）
6	学生と商店街を繋げ！！　”絆”づくりからの商店街活性化　アットストリート	学生と商店街を繋ぐアットストリート	工学部	27	H23～（継続対象）

■東北・山形元気枠

1	食べて元気に！「いきいきごはん」	地教食環境デザインコース学生	地域教育文化学科	18	新規
2	山形×気仙沼元気プロジェクト	気仙沼を元気にし隊	人文学部	11	H26～（継続対象）

■山形大学元気枠

1	山形大学　Academic　Café	山形大学　Academic　Café	人文学部	18	新規

プレス発表資料

平成 27 年 8 月 4 日
山　形　大　学

本学が代表校の「大学間連携共同教育推進事業」が「Ａ評価」となりました

「平成 24 年度文部科学省大学間連携共同教育推進事業」の中間評価が行われ、本学が代表校となっている２事業が５段階評価で２番目に高い「Ａ評価」となりました。

【大学間連携共同教育推進事業とは？】

大学間連携共同教育推進事業は、国公私立の設置形態を超え、地域や分野に応じて大学・短期大学及び高等専門学校間が相互に連携し、社会の要請に応える共同の教育・質保証システムの構築を行うことにより、教育の質の保証と向上、強みを生かした機能別分化を推進することを目的として、平成 24 年度から 49 件の取組が開始されている。

このたび、本事業の開始から３年が経過したことを受け、各取組の進捗状況や成果、事業の継続・発展性を評価し、教育の質の保証と向上を図るとともに、その成果を社会に公表し、全国的な波及につなげることを目的として、中間評価を実施した。

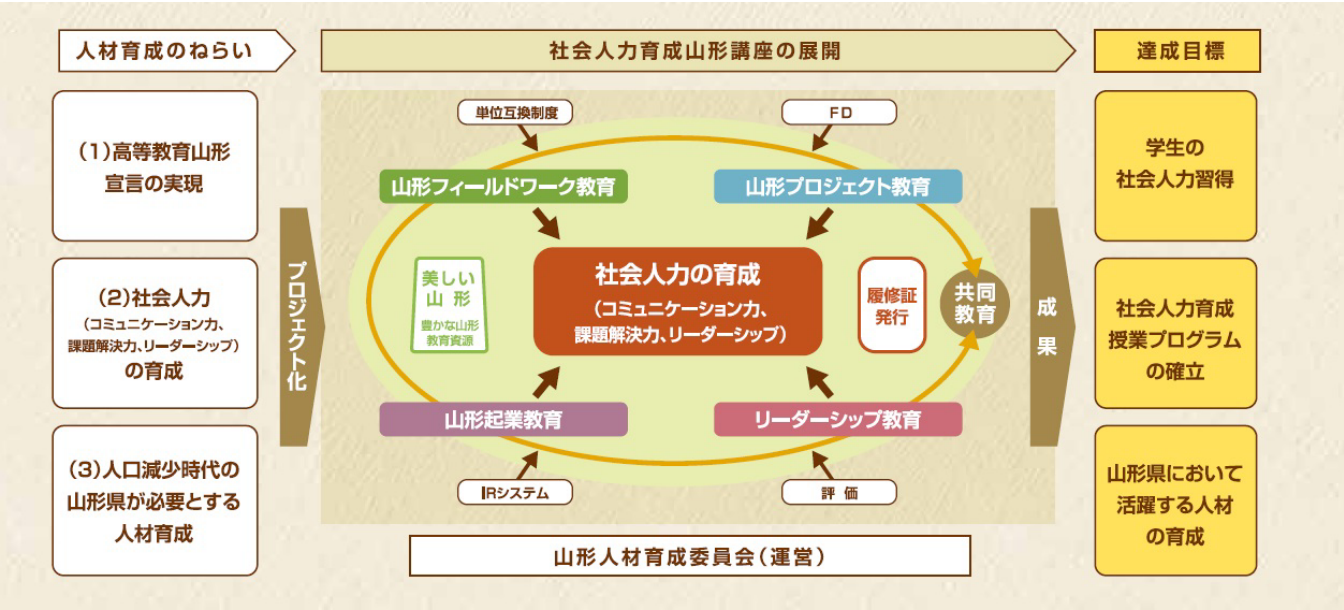
評価結果は、「Ｓ：計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分達成することが期待できる」が７件、「Ａ：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる」が 31 件、「Ｂ：一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である」が７件、「Ｃ：取組に遅れが見られる等、総じて計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには当初計画の縮小等の抜本的な見直しが必要である」が４件であり、計画どおり順調に進捗している取組がある一方で、計画の見直しが求められる取り組みも見受けられる。

（以上、平成 27 年 6 月 30 日　大学間連携共同教育推進事業評価委員会による「中間評価結果の総括」より）

本学が代表校となっている２事業の概要は２頁～３頁のとおりです。

【「美しい山形を活用した『社会人力育成山形講座』の展開」】

この取組は山形県内の９つの高等教育機関が連携して、山形県全域の自然、歴史、文化、コミュニティ、産業、県民性等の多彩な地域資源を教育資源として取り込み、社会人力（コミュニケーション力や課題解決力、リーダーシップ等）を身につけた人材、とりわけ山形県の地域・社会・企業等で活躍する、変える、担う人材の育成を目的として、年間約 500 名の学生が山形講座を履修しています（下図ご参照）。



［評価内容］

教育改革については、90 の地域ステークホルダーと連携して 30 科目の山形講座を開講するとともに、5 つの評価システムを整備することで、質保障システムを構築している。

ステークホルダーとの協働・評価については、連携校の特色を生かして代表校がリーダーシップを発揮し、ステークホルダーとの効率的な連携が保たれている。

社会人力育成の目標、育成すべき力、その達成度・成果が、エビデンスを基に示されており、当初掲げた目標を超える受講者を確保できている。

当初計画では明確でなかった外部有識者や地域ステークホルダーによる評価や、連携機関による授業参観が行われるなど、大きな工夫が見られる。

取組の実施体制・継続発展については、各校において、責任あるマネジメント体制が構築されており、本支援期間終了後は各校に応じた継続的な取り組みが期待できる。

【連携校】

山形大学、山形県立保健医療大学、東北芸術工科大学、東北公益文科大学、東北文教大学、山形県立米沢女子短期大学、羽陽学園短期大学、東北文教大学短期大学部、鶴岡工業高等専門学校（９機関）

【「東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築」】

この取組は、東日本広域圏の 52 の国公私立の大学等が連携する「ＦＤネットワーク“つばさ”」（平成 27 年 7 月現在）の実績を基盤として、効率的かつ実質的な教育の質保証・向上システムを確立することを目的としており、19 の国公私立大学が参加しています。この取組の目標は、学生が自己学習力と社会人基礎力を身に付けることにあります。

この目的・目標を達成するために、（Ⅰ）連携主体的学習、（Ⅱ）連携ＦＤ／ＳＤ、（Ⅲ）連携ＩＲの３つのプログラムを共同して遂行しています。（Ⅰ）のプログラムでは①学生主体型授業と②大地連携ワークショップを実施しています。学生に広い視野と社会性を身に付けてもらうため、①では『合同成果発表コンテスト』を、②では地域の人たちと一体となって現地体験型ワークショップを北海道－山形－首都圏－海外で実施しています。また、（Ⅱ）のプログラムによって教職員の質向上に努め、（Ⅲ）のプログラムによって客観的データを重視する連携ＩＲシステムを共同開発・運営しています。

［評価内容］

本取組は、東日本広域圏の国公私立大学等が連携する「ＦＤネットワークつばさ」の実績を基盤として、効率的かつ実質的な教育プログラムや教育の質保証・向上システムを構築し、学生が主体的な自己学習力と社会人基礎力を身につけることを目的としている。

教育改革については、代表校である山形大学の主導の下、連携主体的学習プログラム、連携 FD/SD プログラム、連携 IR プログラムの 3 つのプログラムの実施等、申請時の計画に従って着実に取組を進めていることは評価できる。

ステークホルダーとの協働・評価については、極めて広域にわたる連携校及びステークホルダーの間において、全ての連携校及びステークホルダーの自治体から選出された委員で運営協議会を組織するなど、適切な連携体制が構築されていることは評価できる。

取組の実施体制・継続発展については、膨大な活動を実施するに当たり、現状では代表校の比重が大きいが、今後の継続発展のためには、代表校である山形大学の持つ資源を連携校の教育改革にどのように伝達し、生かしていくのかが課題である。

【連携校】

山形大学、会津大学、札幌大学、北翔大学、青森中央学院大学、石巻専修大学、東北芸術工科大学、東日本国際大学、明海大学、国際武道大学、了徳寺大学、東京家政学院大学、東京造形大学、日本女子大学、札幌大学女子短期大学部、北翔大学短期大学部、青森中央短期大学、羽陽学園短期大学、いわき短期大学（19 機関）

（お問い合わせ）
教育学生支援部学務担当
電話：０２３－６２８－４０１５
Mail : k-gakumu@jm..kj.yamagata-u.ac.jp

プ レ ス 発 表 資 料

山形大学
YAMAGATA UNIVERSITY

平成２７年８月４日
山　形　大　学

山形大学公開講座「小説を書こう！」を開講します

直木賞作家高橋義夫氏の指導による公開講座「小説を書こう！」を昨年度に引き続き開講します。

山形大学では昨年度に引き続き、一般市民を対象に公開講座「小説を書こう！」を開催します。この講座は基盤教育「山形クリエイティブ・ライティング2015」を一般市民にも開放するもので、受講生が山形大学の学生とともに学ぶのが特徴です。

講師は直木賞作家の高橋義夫氏と基盤教育担当の山本陽史学術研究院教授です。毎回受講生が執筆した小説を題材に、受講生による合評と、高橋氏・山本教授による指導を行います。

◆日時：平成２７年１０月１日～２８年２月４日　毎週木曜日、全１５回
（ただし１０月１５日、１２月３１日、１月７日は除きます）
毎回１３：００～１４：３０

◆会場：山形大学小白川キャンパス基盤教育1号館

◆受講料：5，000円（15回分）

◆募集定員：一般市民　２０名（先着順に受け付け、定員に達し次第締め切ります）
※小説の執筆経験の有無は問いません。

◆受付開始：平成27年8月17日（月）　午前９時から

（お問合せ先）
山形大学学術研究院教授(基盤教育担当)　山本陽史
電子メール：yamaharu@yz.yamagata-u.ac.jp

平成27年度山形大学公開講座

「小説を書こう！」
受講生募集

（平成26年度の講座風景）

山形大学では小説家を目指す学生たちのために、基盤教育「山形クリエイティブ・ライティング」（担当：基盤教育院・山本陽史）を開講しています。昨年度に引き続いて今年度も同授業を一般市民の皆様にも開放いたします。受講される方は自作未発表の小説等を提出していただきます。作品は合評を行うとともに、直木賞作家の高橋義夫氏のアドバイスを受けることができます。プロを目指す方も、趣味として小説を書き続けたい方も奮ってご参加下さい。

日　程：平成27年10月1日（木）～28年2月4日（木）
（10月15日、12月31日、1月7日を除く）
毎週木曜15回、各回13：00～14：30
会　場：山形大学小白川キャンパス　基盤教育1号館
受講料：5,000円（15回分）※初回（10/1）にお支払いください。
定　員：20名（申込順に受け付けます）
受　付：8月17日（月）～定員に達するまで
申込方法：下記申込票にご記入の上、郵送又はFAXにてお送り下さい。電子メールをご利用の方は、同じ情報をメールにてお送り下さい。先着順に受け付け、受講票をお送りします。
お問合せ・お申込先：山形大学小白川キャンパス事務部総務課
〒990-8560　山形市小白川町1-4-12
TEL：　023-628-4744　　FAX：　023-628-4125
電子メール：kj-soukatu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

高橋義夫氏プロフィール：
1945年千葉県生まれ。早稲田大学文学部フランス文学科卒業。出版社、広告企画会社を経て作家。1991年『狼奉行』で直木賞受賞。山形新聞に「最上義光」を連載中。

切り取り

（申込票）　山形大学公開講座「小説を書こう！」の受講を申し込みます。

お名前（漢字）：	お名前（カナ）：
ご住所：〒	
電話番号：	ﾌｧｯｸｽ（任意）：
電子ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ（任意）：	

プ レ ス 発 表 資 料

山形大学
YAMAGATA UNIVERSITY

平成２７年８月４日
山　形　大　学

第８回山形大学高校生朗読コンクール　本選出場者決定について

山形大学特別プロジェクト**「いま、言葉を東北の灯（ともしび）に」**の事業として、**９月１３日（日）開催**の**第８回山形大学高校生朗読コンクール**の本選出場者が決定しました。

◆概要

このプロジェクトは、平成２０年度に始めた「山形大学高校生朗読コンクール」と同時に、群読劇を上演するという内容で、平成２４年度から開催しています。東北の未来を考えるために、東北の人びとが中心となって東北の地で表現するという催しです。

日　時：９月１３日（日）　１３時３０分～１７時　（開場：１３時）
第一部：山形大学高校生朗読コンクール
第二部：群読劇「ビルマの竪琴」
場　所：山形市中央公民館多目的ホール（山形市七日町一丁目2番39号 アズ七日町6階）

◆朗読コンクール

・東北６県の高校生７４名（１８校）からの応募があり、山形大学教員からなる予選審査委員会の選考により本選出場者１３名が決定しました。
・本選は、高村光太郎の『高村光太郎全集第１０巻』（筑摩書房）に収録されている「山の秋」、「山の雪」、「山の春」の中から、それぞれ異なる部分を朗読します。
・本選では、上位３名を山形大学学長賞として表彰します。

＜本選出場者：発表順＞

1	宮城県亘理高等学校	齋藤　英里佳
2	青森県立青森工業高等学校	白川　颯人
3	青森県立青森工業高等学校	黒岩　萌
4	福島成蹊高等学校	二瓶　優歩
5	秋田県立金足農業高等学校	伊藤　香純
6	山形県立寒河江高等学校	佐藤　瑞樹
7	宮城県亘理高等学校	大友　優弥
8	尚絅学院高等学校	渡邉　来実
9	尚絅学院高等学校	佐藤　樹々
10	郡山女子大学附属高等学校	松本　みさと
11	宮城県古川学園高等学校	富澤　実加
12	山形県立山形北高等学校	伊藤　直奈
13	郡山女子大学附属高等学校	上遠野　もも

◆群読劇（同時開催）

・今年度は、戦後７０年にちなみ、竹山道雄の名作「ビルマの竪琴」に基づいた群読劇（集団での朗読を主体とした劇形式）を上演します。
・群読劇「ビルマの竪琴」は、酒田市出身の演出家　佐藤正文氏が演出を担当、俳優の磯部勉さん、女優の大西多摩恵さんの２名をお招きし、山形の一般市民と子どもたち、山形大学の学生およそ４０名が一体となって舞台をつくります。

（お問合せ先）
エンロールメント・マネジメント部社会連携課
電話：023-628-4016

第8回山形大学

高校生朗読コンクール

高村光太郎作品より

群読劇 ビルマの竪琴

原作 竹山道雄

山形大学特別プロジェクト

いま、言葉を東北の灯に

日時

平成27年9月13日(日)

開場13：00　開演13：30

(終演予定17：00)

第一部 高校生朗読コンクール

第二部 群読劇 ビルマの竪琴

第三部 表彰式

会場

山形市中央公民館多目的ホール

(山形市七日町一丁目2-39アズ七日町6階)

入場料　無料(全席自由)

入場・応募方法

入場には事前のお申込みが必要です。

詳細については裏面をご覧ください。

申込締切　平成27年9月9日(水)

お問い合わせ先

国立大学法人 山形大学

エンロールメント・マネジメント部社会連携課

〒990-8560

山形市小白川町1-4-12

Tel　023-628-4016

Fax　023-628-4491

E-Mail　embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※電話によるお申込み・お問い合わせは、

平日9：00～17：00にお願いいたします。

主催　国立大学法人 山形大学

山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯に」

第8回山形大学高校生朗読コンクール～高村光太郎作品より～
群読劇「ビルマの竪琴」

【朗読コンクール・群読劇について】

山形大学高校生朗読コンクールは東北出身の作家の文章・東北を描いた作品を課題として取り上げ、将来の東北を担う若い才能を発掘します。東北6県から応募して予選を突破した高校生たちが、福島県にゆかりのある詩人で彫刻家でもある高村光太郎の作品を朗読します。また、群読劇「ビルマの竪琴」（原作：竹山道雄）では演出は酒田市出身の佐藤正文さん、出演者として磯部勉さん、大西多摩恵さんを招き、山形の子どもたち、一般市民の皆さん、山形大学学生とともに舞台を作り上げます。

【出演者プロフィール】

磯部 勉 （いそべ・つとむ）
桐朋学園大学短期大学部を卒業後、劇団俳優座に入団。シェイクスピア作品を中心に多くの舞台に出演。俳優座以外にも清水邦夫氏の木冬社や蜷川幸雄氏などの作品に参加。中島貞夫監督の映画『さらば、わが友 実録大物死刑囚たち』（1980年公開）で主人公の死刑囚役を演じる。また昨年の『軍師官兵衛』をはじめNHK大河ドラマに多数出演。外国映画の吹替えではハリソン・フォードやメル・ギブソン、ジョージ・クルーニーなどを担当する他、アニメの吹替え、ナレーションなども多数。

大西 多摩恵 （おおにし・たまえ）
仲代達矢氏の主宰する無名塾に1期生として入塾。『肝っ玉おっ母と子供たち』『リチャード三世』などに出演。2000年の退団まで23年間在籍する。永井愛主宰の二兎社で『時の物置』『兄帰る』や、こまつ座『頭痛肩こり樋口一葉』、劇団東京ヴォードヴィルショー『無頼の女房』、宮本亜門演出『金閣寺』など多くの作品に出演。『龍馬伝』（NHK）『相棒10』（EX系）などテレビドラマでも活躍。NHKの海外ドラマシリーズ『ダメージ』では主演のグレン・クローズの声を担当。

【演出・出演】

佐藤　正文 （さとう・まさふみ）
演技トレーナー、演出家、俳優。尚美学園大学芸術情報学部客員教授、日本大学藝術学部非常勤講師。
桐朋学園大学演劇専攻科卒業。劇団俳優座、安部公房スタジオを経てフリー。俳優座劇場プロデュース、無名塾、地人会などの公演に多数出演。1996年米国コロンビア大学の安部公房シンポジウムで演技術・安部公房システムを紹介。平成26年度山形市舞台芸術セミナー「朗読講座」の講師を務める。大手芸能プロダクションで演技レッスンを担当、多数の俳優を育成する。

【入場・応募方法】 入場には事前申込みが必要です（当日も入場を受付けます）

○応募方法

入場申込書に、代表者氏名、代表者住所、電話番号、同行者氏名、合計人数(**5名まで**)をご記入の上、郵送・電話・FAX（EM部社会連携課宛）・メールのいずれかからお申込みください。 **申込み締切：平成27年9月9日(水)**

※電話によるお申込み・お問い合わせは、平日9時～17時にお願いいたします。

〈お申込み先〉

山形大学エンロールメント・マネジメント部社会連携課　〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
Tel：023-628-4016　Fax：023-628-4491　E-mail：embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

○当日の受付方法

事前にお申込みの方はお名前を確認させていただきます。お申込みでない方は受付簿にご記名ください。

平成27年度　第８回山形大学高校生朗読コンクール/群読劇「ビルマの竪琴」

入場申込書

ふりがな 代表者氏名			
代表者住所	〒　　－		
電話番号	－　　－	FAX	－　　－
複数人でのお申込みの場合は、観覧希望者全員のお名前（ふりがな）を下記にご記入ください。			
申込み人数 人	同行者氏名（ふりがな）		

※申込書にご記入頂いた個人情報は、この催しに関する事務処理のみに使用いたします。

プレス発表資料

山形大学
YAMAGATA UNIVERSITY

平成２７年８月４日
山　形　大　学

バルト三国を巡り、人、歴史、世界遺産から
実践的にグローバル感覚を磨く

バルト三国のエストニア、ラトビア、リトアニアを訪問します。バルトの街並みや世界遺産から歴史や文化を学び、実際に現地の方と交流することを通して他者を心から認めて思いやるグローバル感覚を身につけます。

【概要】
　山形大学が交流締結を結んでいるタリン大学、ラトビア大学、ビリニュス大学のある、バルト三国のエストニア、ラトビア、リトアニアを訪問します。世界遺産から歴史を学び、世界中の人たちが魅了される街並みや自然の美しさを心で感じ、伝統的な料理を堪能することで、文化の深さを学びます。また、時に残酷な歴史や母国への思いを受け止め、「心豊かに生きるとは何か」「本当の豊かさや貧しさとは何か」を考え、自分自身がこれから生きていく上での価値観を形成します。そして、現地の方との交流を通して、自らの文化を大切にし、他者を心から認めて思いやるグローバル感覚を実践的に身につけます。

【到達目標】
1．美しい自然や街並み、世界遺産等から歴史や文化を学ぶ。
2．現地の方と英語でコミュニケーションをとることで英語能力を身につける。
3．グローバル感覚を身につけ、帰国後留学にチャレンジすることにつなげる。

【参加者】
学生12名、引率教員2名

【日程】
□山形大学にて事前学習
　訪問地の地理、歴史、文化財と三地区の世界遺産について調査し発表する。
□現地日程
8月16日　　成田ーヘルシンキータリン
　17日～18日　タリン　　世界遺産タリン旧市街見学、タリン大学訪問
　19日～21日　リガ　　リガ大聖堂、ラトビア民族野外博物館等見学
　22日～24日　ビリニュス　聖アンナ教会、博物館等見学
　25日～26日　ビリニュスーヘルシンキー成田ー山形
□山形大学にて事後学習
　訪問地で学んだことや新しい発見等をまとめたものを報告会にて発表する。

【実践教育プログラムとは】

　実践教育プログラムは、グローバリゼーションに対応できる人材や、東北地方の地域再生を担うリーダーを育成するために、人文学部・地域教育文化学部・理学部それぞれの専門教育とは別に、3学部共通の特別教育コースとして実施するものです。大学卒業後、外国語コミュニケーション能力を活かして社会の様々な領域で活躍したい人、自治体等の公務員・職員を志望する人、民間企業等において活躍したい人のために設けられたプログラムで、グローバル・スタディーズ、公共政策スタディーズ、企業活動スタディーズの3つのコースがあります。

【グローバル・スタディーズ・コース】

　グローバル化する社会で、生き生きと暮らし、活発に働く意欲と能力のある人材の育成を目的としています。グローバル化は近年、急速に発展しており、国内外で、異言語を母語とし異文化を背景に成長した人々と日常的に接触する機会が減りつつあります。グローバル化した社会で活躍するために、必要な基礎的な語学運用能力と、異なる文化や社会に関する知識と理解、それらに基づいた課題発見・課題解決能力を、海外留学とその前後の学習によって身につけることが、本コースの学習目標です。
　今回のバルト三国への研修は、異国の文化に触れ、海外の人々と交流することにより世界的視野を身につけることができるため、グローバル・スタディーズコースの授業の一環として実施します。

（お問合せ先）
山形大学実践教育プログラム推進センター
グローバル・スタディーズ・コース
電話　０２３－６２８－４４８３

プレス通知資料（概要）

平成２７年８月４日
山　形　大　学

１．「夏だ!科学体験教室」を開催

（１）日　　時　　８月９日（日）１０：００－１５：００
（２）場　　所　　イオンモール三川ショッピングセンター
（３）出展内容　　のびーるスライム（スライムマイスター＆鶴岡南高校生徒）
クラゲ観察会（クラゲタッチ、クラゲと写真撮影など）（クラゲマイスター）
プラ板キーホルダー（山形大学 SCITA センター学生スタッフ）

詳細は別紙「通知資料」をご覧ください。

２．山形大学文化ホールに於いて<山形大学キャンパスコンサート２０１５>を開催します

今年のキャンパスコンサートは、「地域と大学をつなぐ」をキーワードに、山形ゆかりの音楽素材を集めてプログラムを構成し、各回とも本学音楽芸術コースの学部生と大学院生が山形で活躍する演奏家のみなさまと共演します。

会場：山形大学文化ホール、入場料：無料

詳細は別紙「通知資料」をご覧ください。

３．アフリカ地域の農業関係者が山形大学農学部で研修を開始します

８月１７日（月）より、本学農学部において、アフリカ１２カ国１６名の研修生が稲作の収穫後処理技術について学ぶ「アフリカ地域稲作収穫後処理コース」の研修を開始します。（独）国際協力機構（ＪＩＣＡ）からの依頼を受け、稲作後後処理の研修を受け入れるのは、国内では本学のみ。

詳細は別紙「通知資料」をご覧ください。

４．大学コンソーシアムやまがた「やまがた夜話」

９月は「医者の眼から見た、文学者達」をテーマに山形県立米沢栄養大学の八幡芳和教授から４回お話しいただきます。

詳細は別紙「チラシ」をご覧ください。

以上

プレス通知資料

山形大学
YAMAGATA UNIVERSITY

平成27年8月4日
山　形　大　学

「夏だ！科学体験教室」を開催

「やまがた『科学の花咲く』プロジェクト」（山形大学）では、県内各地で子どもたちを対象とした科学体験教室を開催しております。今年もイオンモール三川で「夏だ！科学体験教室」（7回目）を開催します。

概要

（１）開催日時　８月９日（日）　１０時 ～１５時

（２）開催場所　イオンモール三川ショッピングセンター
（山形県東田川郡三川町大字猪子字和田庫128-1）

（３）出展内容
・のびーるスライム（スライムマイスター＆鶴岡南高等学校生徒）
・クラゲ観察会（クラゲタッチ、クラゲと写真撮影など）（クラゲマイスター）
・プラ板キーホルダー（山形大学SCITAセンター学生スタッフ）

（４）参加費　無料（遊べる学べるイベントがいろいろあり、どなたでも参加できます。）
なお、小さなお子様は保護者同伴でお願いいたします。

※「やまがた『科学の花咲く』プロジェクト」とは

独立行政法人科学技術振興機構（JST）の支援により、山形県、県内関係機関とともに地域の科学舎推進事業「地域ネットワーク支援」として「やまがた『科学の花咲く』プロジェクト」を平成21年度から３年間行い、平成24年度からは、大学や県などで継続して事業を進めているプロジェクトです。

（お問い合わせ）
山形大学ＳＣＩＴＡセンター
電話：０２３（６２８）４５１７

夏だ！科学体験教室

参加無料

8月9日(日)
10:00～15:00
イオンモール三川

※小さなお子様は保護者同伴でお願いします

☆ のびーるスライム
【スライムマイスター＆鶴岡南高等学校生徒】

☆ クラゲ観察会
【クラゲマイスター】

☆ プラ板キーホルダー
【山形大学SCITA学生スタッフ】

主催　やまがた『科学の花咲く』プロジェクト（山形大学）
共催　鶴岡市立加茂水族館、鶴岡南高等学校、イオンモール三川
後援　日新製薬㈱、水澤化学工業㈱、山形大学校友会

プレス通知資料

山形大学
YAMAGATA UNIVERSITY

平成２７年８月４日
山　形　大　学

山形大学文化ホールに於いて
＜山形大学キャンパスコンサート2015＞を開催します。

「山形大学文化ホール」に於いて＜山形大学キャンパスコンサート2015＞を下記の日程で行います。（※入場無料）

今年度は「地域と大学をつなぐ」をキーワードに、**山形ゆかりの音楽素材を集めてプログラムを構成**し、各回とも**本学音楽芸術コースの学部生と大学院生が山形で活躍する演奏家のみなさまと共演**します。

第１回は山形市出身で、**日本人の女性作曲家第一号として活躍した松島彝の作品と、山形市を中心に活躍する気鋭の作曲家、木島由美子の作品**をお贈りします。第２回は**山形で活躍する若手ピアニストたちによるピアノの饗宴**です。若さ溢れるピアニストたちの情熱的な演奏をお楽しみください。第３回は**山形県高畠町出身の童話作家、浜田広介の不朽の名作「泣いた赤鬼」を素材にしたオペラ**をお贈りします。ひろすけ童話の魅力を音楽で味わっていただきます。

山形大学文化ホールは「地域と大学をつなぐ文化の創造」の拠点として、大学の教育・研究の成果を地域に向けて発信し、大学と地域との協働的活動を展開する場です。今後は、地域の音楽家や音楽関係諸団体と連携したコンサートや市民向け公開講座などを積極的に展開してまいります。

皆様のご来場を心からお待ちしております。

第１回	山形が生んだ音、音楽 ―松島　彝、木島由美子の音楽―	１０月１０日（土） 13：30-14：30
第２回	ピアノの饗宴 ―山形の若手ピアニストたち―	１１月２１日（土） 13：30-14：30
第３回	オペラで味わう浜田広介の童話 ―はまだひろすけ原作、松井和彦作曲≪泣いた赤鬼≫―	１２月１２日（土） 13：30-14：30

♪ピクニックコンサート♪（開催日不定期）

ピクニックコンサートは、小学生以下の子どもたちを対象にした気軽なコンサートです。曲の解説や楽器紹介など、お話を交えながら進行します。お弁当やおやつを持って山形大学に来てみませんか。開催日程等は、下記に直接お問い合わせください。

問い合わせ先：学術研究院・教授　佐川　馨 028-628-4332　sagawa@e.yamagata-u.ac.jp

山形大学
YAMAGATA UNIVERSITY

山形大学キャンパスコンサート2015

会　場：山形大学文化ホール
入場料：無料

今年のキャンパスコンサートは、「地域と大学をつなぐ」をキーワードに、山形ゆかりの音楽素材を集めてみました。音楽芸術コースの学部生及び大学院生と山形で活躍する演奏家の共演により多彩なプログラムをお届けします。みなさま是非おいでください。

第1回　10月10日(土)　13：30～14：30

山形が生んだ音、音楽 ―松島　彝、木島由美子の音楽―

駒込　綾（バイオリン）　佐藤愛歌音（ピアノ）　佐藤香織（ピアノ）　長南敦也（ピアノ）
坂川侑香（ソプラノ）　柳生百香（メゾソプラノ）　小林音葉（メゾソプラノ）　八島慧太（バリトン）
南條雅登（マリンバ）　鈴木　昇（マリンバ）

第2回　11月21日(土)　13：30～14：30

ピアノの饗宴 ―山形の若手ピアニストたち―

小平圭亮　鈴木　映　藤井朋美　齋藤祐丞　佐藤愛歌音　深澤達央

第3回　12月12日(土)　13：30～14：30

オペラで味わう浜田広介の童話
―はまだひろすけ原作、松井和彦作曲《泣いた赤鬼》―

・指　揮/佐々木奏平
・ピアノ/山口杏奈　宮腰まい子
・打楽器/佐藤　瞳　鈴木　昇
　今高いずみ
・ナレーター/中澤美緒
・赤　鬼/宮下　通
・青　鬼/鈴木　集
・　娘　/坂川侑香
・女　房/柳生百香
・百　姓/佐藤匠悟
・木こり/八島慧太

ピクニックコンサート

小学生以下の子どもたちを対象にした気軽なコンサートです。
お弁当やおやつを持って山形大学に来てみませんか。
開催日程や演奏時間はお問い合せください。

■一回の入場者数は引率の先生、保護者を含めて100名までとなります。
■曲の解説や楽器紹介など、お話を交えながら進行する楽しいコンサートです。
■ご希望に応じて、子どもたちが演奏する時間を設けることもできます。

申し込み
2015年7月20日から8月末まで
下記に直接お申込みください。

山形大学佐川研究室
☎023-628-4332
sagawa@e.yamagata-u.ac.jp

主　催／山形大学キャンパスコンサート実行委員会
お問合せ／地域教育文化学部 佐川　馨
☎023-628-4332

山形大学小白川キャンパス

〒990-8560　山形市小白川町一丁目 4-12 TEL023-628-4304

JR山形駅から東方へ約2km

●JR山形駅前から県庁行きで山形南高校前（山大入口）下車、そこから徒歩5分。
●JR仙台駅前から高速バス(約65分)で山形南高校前（山大入口）下車、そこから徒歩5分。
●JR山形駅前から徒歩（約20分）

※構内の案内板は正面付近にございます。車でおいでの方は北側駐車場を利用できます。

プレス通知資料

山形大学
YAMAGATA UNIVERSITY

平成２７年８月４日
山　形　大　学

アフリカ地域の農業関係者が山形大学農学部で研修を開始します

８月１７日（月）より、本学農学部において、アフリカ１２ヵ国１６名の研修生が、稲作の収穫後処理技術について学ぶ「アフリカ地域稲作収穫後処理コース」の研修を開始します。独立行政法人国際協力機構（JICA）からの依頼を受け、稲作収穫後処理の研修を受け入れるのは、国内では山形大学のみ。

◆概要

研修期間　：平成２７年８月１７日(月)～９月２５日(金)
研修参加国：カメルーン、コートジボワール、エチオピア、ガーナ、ケニア、モザンビーク、ナイジェリア、ルワンダ、スーダン、タンザニア、ウガンダ、ザンビア（１２ヵ国）
使用言語　：英語
研修内容　：アフリカ諸国を対象とした稲作収穫後処理技術の習得と普及のための研修（研修スケジュール別添）
受入ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ：夏賀 元康 教授（農学部安全農産物生産学コース）
角田 憲一 准教授（農学部安全農産物生産学コース）
片平 光彦 准教授（農学部安全農産物生産学コース）
佐々木 由佳 准教授（農学部安全農産物生産学コース）

- 研修生は、各国の農業省庁職員や研究者など。
- 日本有数の米どころ庄内で、農学部での講義を中心に鶴岡市内の圃場や乾燥施設、農業機械工場などの見学、地元農家での刈取り適期の実習など、庄内地方の稲作技術の発展から最先端の稲作収穫後処理（ポストハーベスト）技術まで幅広く技術を学ぶ。また、秋田県の協力を得て八郎潟の大規模稲作も視察予定。
- 研修生は農学部で習得した技術を生かして、今後のアフリカ諸国におけるコメ生産量の増加を目指す。

◆研修の背景

アフリカ開発会議（TICAD）において、アフリカ諸国のコメ生産量を平成20年度から10年間で倍増させる支援策の一つとして、収穫後処理技術の習得は生産量を増加させるための重要な課題とされています*。

農学部においては、独立行政法人国際協力機構（JICA）が主催する地域別・国別研修の一つとして、平成20年度より安藤名誉教授と夏賀教授が中心となり、アフリカ諸国の研修生を受け入れてきました。

＊アフリカ諸国の食料増産及び農業生産性向上への支援（コメ生産拡大等）は、第4回アフリカ開発会議（平成20年5月開催）において、TICADプロセスが達成すべき目標とそのために必要な具体的手段として行動計画に掲げられています。

（お問合せ先）
農学部企画広報室
電話　０２３５－２８－２９１０

＊スケジュールは天候により変更する可能性があります。

月	日	曜	午前		午後	
			場所	内容	場所	内容
8	17	月	農学部	開講式（自己紹介・スケジュール説明・大学案内）	農学部	各国のポストハーベストの問題点の紹介
	18	火	農学部	問題点に関する討議(プレアクションプラン)	農学部	問題点に関する討議(プレアクションプラン)
	19	水	農学部	日本の農業・庄内の農業	農学部	圃場を中心とした稲作作業
	20	木	農学部	農業経営と稲作	農学部	農業経営と稲作
	21	金	水田農業試験場	水稲害虫について	水田農業試験場	圃場研修
	22	土		自主研修		自主研修
	23	日		自主研修		自主研修
	24	月	庄内農業技術普及課	普及について	庄内農業技術普及課	庄内の農業概説・種子生産の現場/鶴岡市表敬訪問（16:30～）
	25	火	水田農業試験場	庄内の育種の現況	水田農業試験場	庄内の育種の現況
	26	水	水田農業試験場	種子生産	水田農業試験場	貯蔵食品害虫について
	27	木	農学部	稲生理生態の基礎と栽培技術	農学部	稲生理生態の基礎と栽培技術
	28	金	農学部	適期収穫期などの重要性、適期判定法(講義)	高坂農場	適期収穫期などの重要性、適期判定法(実習)
	29	土		自主研修		自主研修
	30	日		自主研修		自主研修
	31	月	農学部	稲作のポストハーベスト(1)	農学部	水分と品質測定(実習)(1)
9	1	火	三小	国際協力理解授業（鶴岡市立朝暘第三小学校）	農学部	水分と品質測定(実習)(2)
	2	水	農学部	日本の稲作の農業機械化(1)	鶴岡市内の圃場	JA鶴岡の圃場巡回
	3	木	マメトラ農機	農業機械工場(マメトラ農機)見学	JA鶴岡	営農からみたJAの役割について
	4	金	農学部	問題点に関する討議(プレアクションプラン)	農学部	問題点に関する討議(プレアクションプラン)
	5	土	水田農業試験場	水田農業試験場参観デー参加		自主研修
	6	日	秋田県	秋田県大潟村へ移動	秋田県	干拓博物館見学、農家水田・乾燥舎視察
	7	月	秋田県	秋田県大潟村役場表敬訪問、JA大潟村訪問	秋田県	カントリーエレベーター公社視察、小中学校訪問
	8	火	秋田県	八郎潟基幹施設見学、秋田県農業試験場視察	秋田県	鶴岡へ移動
	9	水		自主研修		自主研修
	10	木	農学部	アフリカにおけるJICAの活動について	農学部	ポストハーベストの管理、害虫の観点(講義)
	11	金	農学部	日本の稲作の農業機械化(2)	山本製作所	農業機械工場(山本製作所)見学
	12	土		自主研修		自主研修
	13	日		自主研修		自主研修
	14	月	農学部	Site Specific Nutrient Management	農学部	Site Specific Nutrient Management
	15	火	農学部	日本の灌漑	月山ダムほか	灌漑設備見学
	16	水	農学部	糸状菌による米の変質	高坂農場	イネ病害の視察
	17	木	農学部	稲作のポストハーベスト(2)	農学部	稲と水
	18	金	農学部	Site Specific Nutrient Management	農学部	Site Specific Nutrient Management
	19	土		自主研修		自主研修
	20	日		自主研修		自主研修
	21	月	鶴岡市内農家	農家の乾燥施設や実際(見学)	松ヶ岡酒田市	松ヶ岡農機具収納庫・山居倉庫見学
	22	火		(アクションプラン準備)		(アクションプラン準備)
	23	水		(アクションプラン準備)		(アクションプラン準備)
	24	木	農学部	日本の穀物検査	農学部	総合討論(アクションプラン発表)
	25	金	農学部	総合討論(アクションプラン発表)	農学部市内会場	評価会議、修了式・歓送会（18:30～）

やまがた夜話

「医者の眼からみた、文学者達」と題し、山形大学病院、米沢市立病院内科医師として多くの臨床経験をもとに、病を得ながらも負けず、更に優れた作品を世に出した文学者の隠れた実像を解析する。

平成27年

9月1日（火）　北原白秋

「糖尿病合併症の視力障害で、薄明失明の世界」

9月8日（火）　正岡子規

「肺結核から脊椎カリエス併発し、下肢の激痛運動麻痺でまさに病床六尺の世界」

9月15日（火）　斎藤茂吉

「心弁膜症、心房細動による脳梗塞での不自由な車椅子生活」

9月29日（火）　小林一茶

「高血圧から脳出血での不自由な神経麻痺の生活」

＊9月はすべて火曜日開催となります。また、時間はいずれも 18:30～19:30 です。

講　師　八幡 芳和　氏（山形県立米沢栄養大学健康栄養学部・教授）

会　場　ゆうキャンパス・ステーション（山形むらきさわビル1階）

対　象　高校生・学生・一般市民

入場無料　定員：50名

アクセス　山形駅東口より徒歩1分

お申し込み　電話又はチラシ裏面の参加申込書に必要事項を記入の上Fax，郵送、メール等でお申し込みください。

主　催　大学コンソーシアムやまがた

後　援　山形市

大学コンソーシアムやまがた

お申込み・お問合せ

〒990－0039　山形市香澄町1－3－15　山形むらきさわビル1階
TEL：023-628-4842　FAX:023-628-4820
E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

FAX：023-628-4820
大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日：それぞれの夜話前日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。 ☐　平成２７年　９月　１日（火）　講師：　八幡　芳和　氏 ☐　平成２７年　９月　８日（火）　講師：　八幡　芳和　氏 ☐　平成２７年　９月１５日（火）　講師：　八幡　芳和　氏 ☐　平成２７年　９月２９日（火）　講師：　八幡　芳和　氏
住　所	〒
氏　名	
連絡先	TEL
	E-mail
所　属	

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。

この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた　ゆうキャンパス・ステーション

〒990－0039　山形市香澄町1－3－15　山形むらきさわビル1階

TEL:023－628－4842　FAX:023－628－4820　E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp